

明日を拓く



岸本さん「沢山の人に来てほしい。」

谷自治振興協議会で地域おこし協力隊員として働いている岸本佳美さんと岡村虹二さんにインタビューしました。二人からは、地域を動かそうとか、影響をあたえようとかいう気負いが無く、自然体で、地域と親和する能力を持っていて感じました。

この町の第一印象は
岸本 緑がいっぱい、山が多いなーと感じ、面接のとき良くしてもらって安心感がありました。(鳥取にも山はたくさんあるでしょ)



岡村さん「まず地域を学びたい。」

鳥取に居たのは高校まで、この年頃には周りのことに関心が無いですよ、部活のことなんかばかりでした。大学を卒業し、兵庫県で農業を体験して意識するようになりました。協力隊で来ているから、色々なことを知りたいと思うんですが、ここで育つていたら、意識しなかったかもしれない。**岡村** 最初、「わっ山だ」と思いました。面接のとき形式ばったものを予想してきましたが、皆さんとても柔らかかに(やさしい)ってことかな、接してもらいました。すごくやさしさを感じました。出身が横浜で、ビルだらけのところから来たので、とても自然を感じました。関東では自然は公園に行くしかなく、ここは全部が公園のようです。窓を開けるとそこに自然があるのは感動です。

岸本さんはこの3年間に印象に残ったことは

岸本 私は何もできる人間で無いので、ここで何か教えてもらおうと思いました。地域に何か残そうと言うことでなく、ここで何か学ぼうと言う気持ちで過ごしてきました。逆に支えてもらって活動できたと思っています。皆さんにチャンスを与えてもらって感謝しています。

岡村さんはこれからの3年間どうしたい

岡村 今はわからないことだらけで何をすればよいかかわかりません。まず地域を学びたい。それからやるべきことを探したいと思います。

地域に望むことは

岸本 町外の人や谷笑楽校を知ってもらいたいし、沢山の人に来てもらいたい。大きなことをするのはなく小さなことでもいいからいいところだなと思ってもらえる場所であり続けてほしいです。

季節季節に必ずここに帰ってくる人がいて、そんなとき必ずここにきてもらえる。ここが開いているから来てもらえる、閉まっていたのでは誰も足を運ぼうと思ってくれません。(だからいつまでも開けておいてほしい)

岡村 僕をかわいがってほしいです。

今月の表紙写真



この春も町内の小学校から卒業生が巣立っていきました。ここ赤名小学校で行われた卒業証書授与式は、賑やかな中にも凜とした雰囲気の中で粛々と進められ、参列した保護者も、あっという間に過ぎた6年間と、大きく育った我が子が晴れやかな式に臨む姿に感動されていました。今年には志々の4人、頓原・来島・赤名のそれぞれ17人を加え、55人が中学校に進学することになりました。

編集後記

秒針のひと刻みはアツという間。まばたきをすれば過ぎる。それでも、肉体を鍛え上げれば一秒間に10メートル強を走ることもできる。たかが一秒、されど一秒▼今から28年前に、美しい詩で始まるCMが、テレビで一度だけ放送された。「一秒の言葉」。4月、新スタートをきる町民の皆様にご贈ります。

「一秒の言葉」 小泉吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に
一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に
人の優しさを知ることがある

「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で
勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で
しあわせにあふれることがある

「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に
人の弱さを見ることがある

「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が
一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く
一生懸命 一秒

議会広報編集委員会 家田敦彦